

各位

本社所在地 栃木県足利市南大町4-4-3番地
 会社名 株式会社 タツミ
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 伏島利行
 コード番号 7268 東証スタンダード市場
 問い合わせ先 常務取締役 木村英典
 TEL (0284) 71-3131

営業外収益（為替差益）及び特別損失の計上、
 2023年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異、
 並びに2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月期第2四半期連結会計期間（2022年7月1日～2022年9月30日）において営業外収益（為替差益）及び特別損失を計上いたしました。また、2022年5月10日に2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想及び通期連結業績予想を公表いたしました。第2四半期については連結業績予想値と本日公表の実績値との差異が生じ、通期（2022年4月1日～2023年3月31日）については、連結業績予想を修正いたしました。これらについて、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の内容

2023年3月期第2四半期連結会計期間において、外国為替相場の変動に伴い、営業外収益に為替差益45百万円を計上いたしました。これは主に、当社が保有する外貨建て資産の評価により生じたものです。この結果、2023年3月期第2四半期連結累計期間においては、営業外収益に110百万円の為替差益を計上いたしました。

2. 特別損失の内容

2023年3月期第2四半期連結会計期間において、特別損失に固定資産除却損125百万円を計上いたしました。これは主に、海外連結子会社において一部の機種が生産終了に伴い生産設備の除却損を計上したものです。

3. 2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異

（2022年4月1日～2022年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,500	10	△ 5	△ 5	△ 0.83
今回実績値(B)	3,019	△ 177	△ 92	△ 171	△ 28.58
増減額(B-A)	519	△ 187	△ 87	△ 166	-
増減率	20.8%	-	-	-	-
(参考)前期第2四半期累計実績 (2022年3月期第2四半期累計)	3,222	△ 24	△ 40	△ 34	△ 5.75

(差異の理由)

当第2四半期連結累計期間における売上高は、国内において半導体供給不足による自動車メーカーの減産の影響を受けたものの、海外において計画を上回る受注があったこと、客先からの設備補償費用を計上したこと、及び円安の影響により増収となりました。

利益面においては、継続的な原価低減活動や追加施策を含めた諸経費の圧縮を行ってまいりましたが、国内売上が損益分岐点売上高を下回って推移したこと、資源・素材高騰に伴う材料費や諸経費の上昇、及び輸送コストの上昇等も影響し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、当初の予想を下回る結果となりました。

4. 2023年3月期通期連結業績予想の修正

(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,250	50	25	15	2.50
今回修正予想(B)	6,560	22	35	△ 90	△ 15.01
増減額(B-A)	310	△ 28	10	△ 105	-
増減率	5.0%	-	-	-	-
(参考)前期実績(2022年3月期)	6,130	△ 295	△ 288	△ 203	△ 33.91

(修正の理由)

通期連結業績予想につきましては、利益面で第2四半期連結累計期間の業績を受けて、当初予想を下回る事が予測されるものの、国内売上も回復基調となってきたこと、原材料の価格上昇分が第3四半期から全て売価反映されること、及び不採算製品からの完全撤退の効果も織り込み、予想値を修正いたします。なお、上記(2. 特別損失の内容)のとおり特別損失(固定資産除去損)を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益は、当初予想を大きく下回る見込みであります。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上